

三叉神経痛に対する
自己フィブリン糊を利用した手術

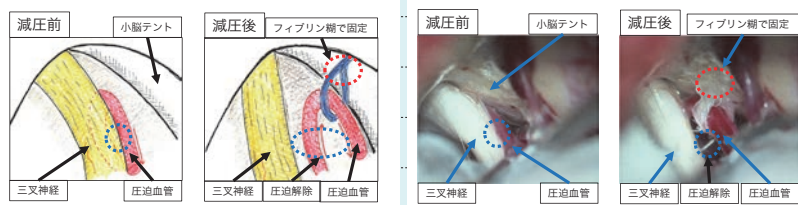
脳神経外科 毛利 正直



国際頭痛分類第3版では、血管圧迫による三叉神経痛は「典型的三叉神経痛」に分類されます。三叉神経は前額枝、上顎枝、下顎枝に分かれますが、典型的三叉神経痛ではいずれかの領域の一部や複数の領域にまたがって生じる数秒間から2分程度の電撃痛を認め、それが繰り返されます。食事、会話、歯磨きなどで痛みが誘発されることが多く、ADLが著しく障害されます。治療は薬物から外科治療まで多岐に渡りますが、今回は当院で行っている自己フィブリン糊を利用した微小血管減圧術（MVD）について紹介します。MVDは唯一の典型的三叉神経痛の根治的治療法であるので、あらゆる患者に考慮すべき治療法の一つです。また薬物治療を選択しても効果が不十分な場合や副作用で十分な治療が行えない場合には手術を考慮します。手術は全身麻酔で行い、患側耳介の後方を部分剃毛し7cmの皮膚切開、3cmの開頭、硬膜を切開し、三叉神経を確認します。三叉神経と三叉神経を圧迫して走行している血管を確認し、圧迫血管を移動させます。移動させた圧迫血管が

元に戻り再び三叉神経を圧迫しないようにフィブリン糊で固定し終了します。当院では北陸では最初に導入された自己クリオ作成装置が導入されており、手術1週間前に自己血採血を行い作成した自己フィブリン糊（クリオ）を術中に利用しています。また術翌日に自己CRC（赤血球）、自己FFP（血漿）を戻し輸血しています。感染症や免疫応答による有害事象を回避し、術後に短期間で復帰できるように自己血輸血を利用しています。手術前日に入院して入院期間は10日間となっています。顔面の激しい痛みがあり三叉神経痛を疑う患者さんがいましたら、当院の脳神経外科に紹介していただければと思います。

（文責：毛利 正直）





1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）※会場またはWEBでの参加が可能です

令和4年1月は、開催がありません。

次回の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

予告 日時：2月8日（火）19：00～20：15 ハイブリッド開催

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 2例 （担当）消化器内科、整形外科

②ミニレクチャー 1題 （担当）産婦人科

日時：3月8日（火）19：00～20：15 ハイブリッド開催

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 2例 （担当）腎臓内科、脳神経外科

②ミニレクチャー 1題 （担当）放射線科

地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生方の利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしく願いいたします。一度登録させていただければ今後継続してご案内をメールいたします。

ttn2168@tch.toyama.toyama.jp（ふれあい地域医療センター 地域医療連携室）

※定例の研修会、看護研修

当面の間、開催を見合わせております。

令和3年度 地域医療部 講演会のお知らせ

予告

昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を見送りましたが、今年度は、会場ならびにWeb参加のハイブリッド形式で開催することとなりましたので下記のとおりご案内いたします。南砺医療圏においてさまざまな施策を積極的に展開され情報発信されている南砺市民病院 清水院長をお招きしご講演いただきます。参加申し込みについては、別途ご案内いたします。

日時：令和4年2月25日（金）17：45～19：15

場所：富山市民病院 3階講堂

演題：地域で輝く病院をめざして ―南砺市民病院の挑戦―

講師：南砺市民病院 院長 清水 幸裕先生



作：病院ボランティア 篠崎 佳子



研修医のひとりごと

初期研修医
服部 奏子



初期研修2年目の服部奏子です。富山市民病院で働かせていただいてからあっという間の2年間でした。初めは分からないことばかりで、皆さんにご迷惑ばかりおかけしたと思います。何とか、先生方の指導の下で、自分で治療方針について考えたり、実際に手技を行ったりと、自分自身でやってみるという経験を多くさせていただいているうちに、仕事のやりがいや楽しさを感じるようになり、本当に充実した研修生活を送ることができました。人のためになったと思っ

た時の嬉しさや、また自分の勉強不足を痛感したことなど、その全てが勉強でした。この2年間の研修生活を通じて、患者さんのために、医師として自分に出来る事を日々積み重ねていくことのやりがいと大変さとを学びました。この場をお借りして、色々な面から支えて下さり、また貴重な経験を下さった皆様に心から感謝を申し上げます。まだまだ一人前からは程遠いですが、これからまた沢山のことを勉強して、目の前の一人一人の患者さんのお役に立てるよう、精進して参りたいと思います。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

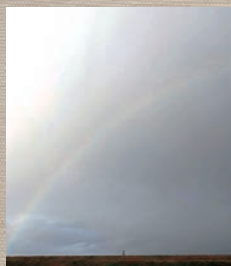
1月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
麻酔科	永川	20日	形成外科	田畑	14日
精神科	長谷川雄	19日	眼科	高松	21日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168



編集後記



12月4日午後3時過ぎ、ランニングしている最中に虹が出ました。同時刻にたまたま見られた方もおられるのではないのでしょうか。きれいな半円で思わず写真を撮りましたが、近すぎて1枚に収まりませんでした。虹には「願いが叶う、明るい未来が訪れる」という意味があるそうです。2022年が皆様にとって良い年となりますようお願いしております。今年1年間ありがとうございました。

ふれあい地域医療センター 社会福祉士 八木 智矢



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp